

寄稿

小田原が、日本再生のさきがけに

小田原市長 加藤憲一

この4年間、様々な課題の解決を図りつつ、豊かな地域資源が十全に花開いた「新しい小田原」を目指して、実に多くの取り組みに挑戦してきました。これらは、一義的には小田原のために行っているのですが、結果的に、国内各分野から高い評価を受けています。

画期的な市民参画手法で「地域づくり総務大臣表彰」を受けた新総合計画。他都市での導入に対する先導性に繋がった「地域包括ケアモデル事業」等々。

事例となった総務省「緑の分権改革」、ケアタウンなどの意欲的な取り組みが採択に繋がった「地域包括ケアモデル事業」等々。

これは行政に限ったことではありません。昨秋の「環境市民フォーラム」は全国初の「魚付林サミット」として各界からの識者が結

集。国指定史跡では初の天守閣木造再建を目指す「城普請会議」にも国内の錚々たる棟梁たちが集うなど、全国規模での注目を集めることが増えています。マルシェや朝市などの活発な動きに呼応し、県の朝市サミットも小田原に。直近では、無尽蔵プロジェクトから生まれた「片浦レモンサイダー」などの取り組みが、農林水産大臣賞を受賞。

震災後は、再生可能エネルギーの地域自給にいち早く着手、市町村では唯一、環境省からの事業化検証業務を受託。南相馬市の桜井市長らとともに、私も「脱原発首長の会」の呼びかけ人となり、いのちを守る動



かとうけんいち

1964年小田原生まれの47歳。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長、有限会社あしがら総研代表などを経て、現在小田原市長を務める。妻と子ども2人の4人家族。

きを進めています。相馬市の水産業復興に向けた協働の取り組みも、やはり国認定の事業とされました。このように、実は小田原は、この国の課題を解決し再生を進める「さきがけ」となっています。自信を持ち歩んでいきましょう！

4/14(土) PM6:00~PM7:40

加藤けんいちを励ます会

会場／小田原お堀端コンベンションホール(ジャンボーナックビル5F)



おだわらを拓く力 TEL.0465-21-5260
小田原市栄町2-13-1-2F <http://www.katoken.info>